

ステップ1: 課題系図

H28/1/28, 29 EAワークショップ
(独) 大学評価・学位授与機構

地域連携センター

地方自治体

4班

職員

教員

地域課題の提出者

銀行

地域社会の活性化につな
がっていない

地域課題の
解決になっ
ていない

契約に至ら
ない

大学と地域の
ニーズがマッ
チングでき
ていない

全学的に展
開できてい
ない

社会連携課
の職員に知
識・ノウハウ
がない

学内で制度
の認知がさ
れていない

教員が非協
力的

契約に係る事
務体制が整
備されてい
ない

教員に地域貢
献活動のメ
リットがない

地方自治体・企
業へシーズの提
示が十分でき
ていない

自治体・地元
企業に信頼関
係がない

ステークホル
ダーに有用性
が伝わって
いない

大学の取り組
みに対する地域
からの信頼が低
い(高くない)

契約前の調
整が不十分

地域課題に取
り組んでも研
究業績につな
がらない

教員の負担
が不公平

教員向けの地
域貢献への
評価がない

大学と地域で
一緒に話合う
テーブル(組
織)がない

これまでのノ
ウハウを教員
に説明してい
ない

地域連携セン
ターは地域課
題を把握でき
ていない

自治体・企業
へ大学が出
向いていない

地域連携セン
ターの活動が
全学に及んで
いない

ニーズが把握
できていない

シーズが把
握できてい
ない

センターの
機能体制が
不十分

地域連携セン
ターにおける
企画・立案が
できていない

センターと社会
連携課の役割
分担が不明確
である

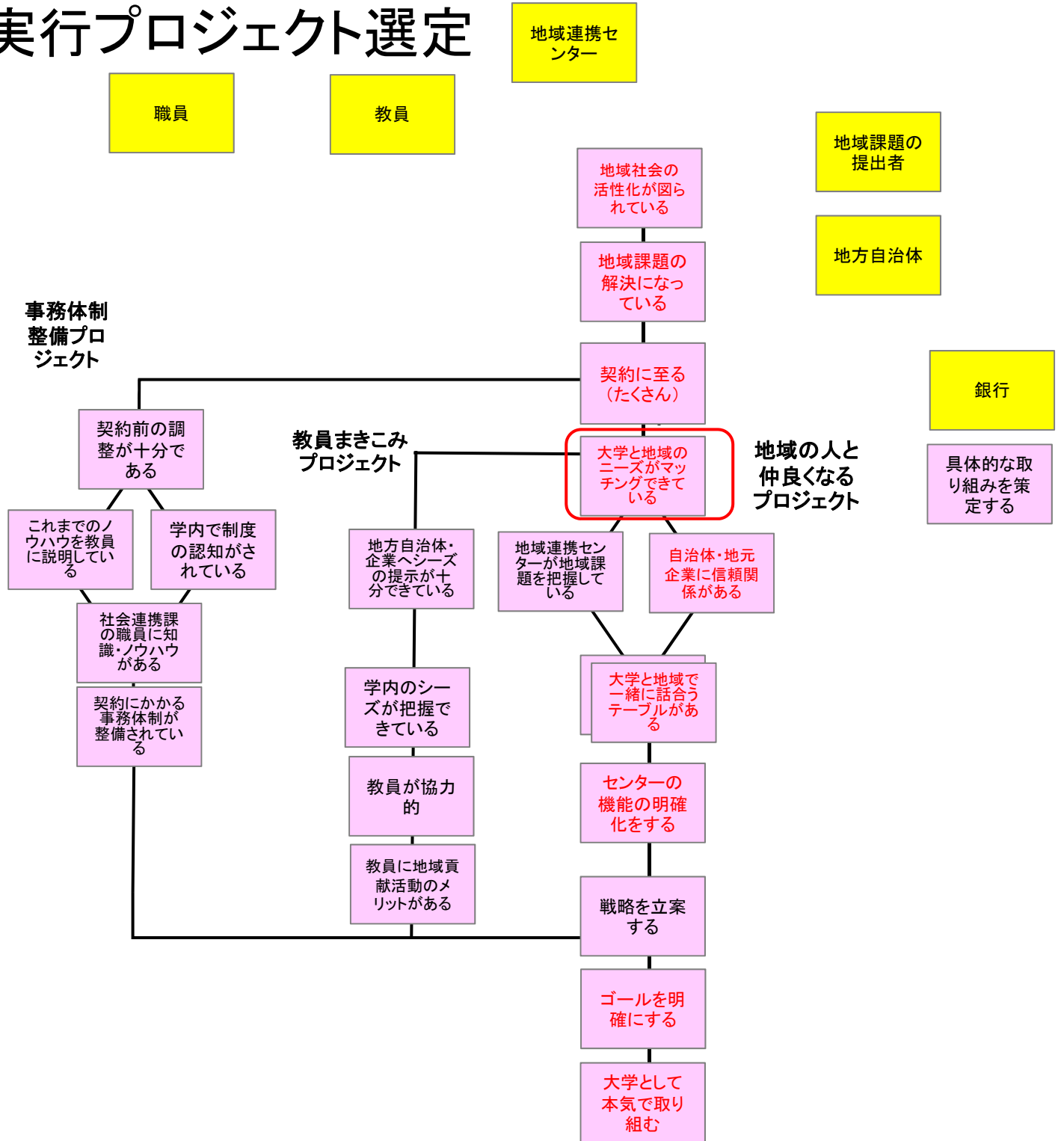
担当部署が
不明確

方針や戦略
が不明確

ゴールが見
えない

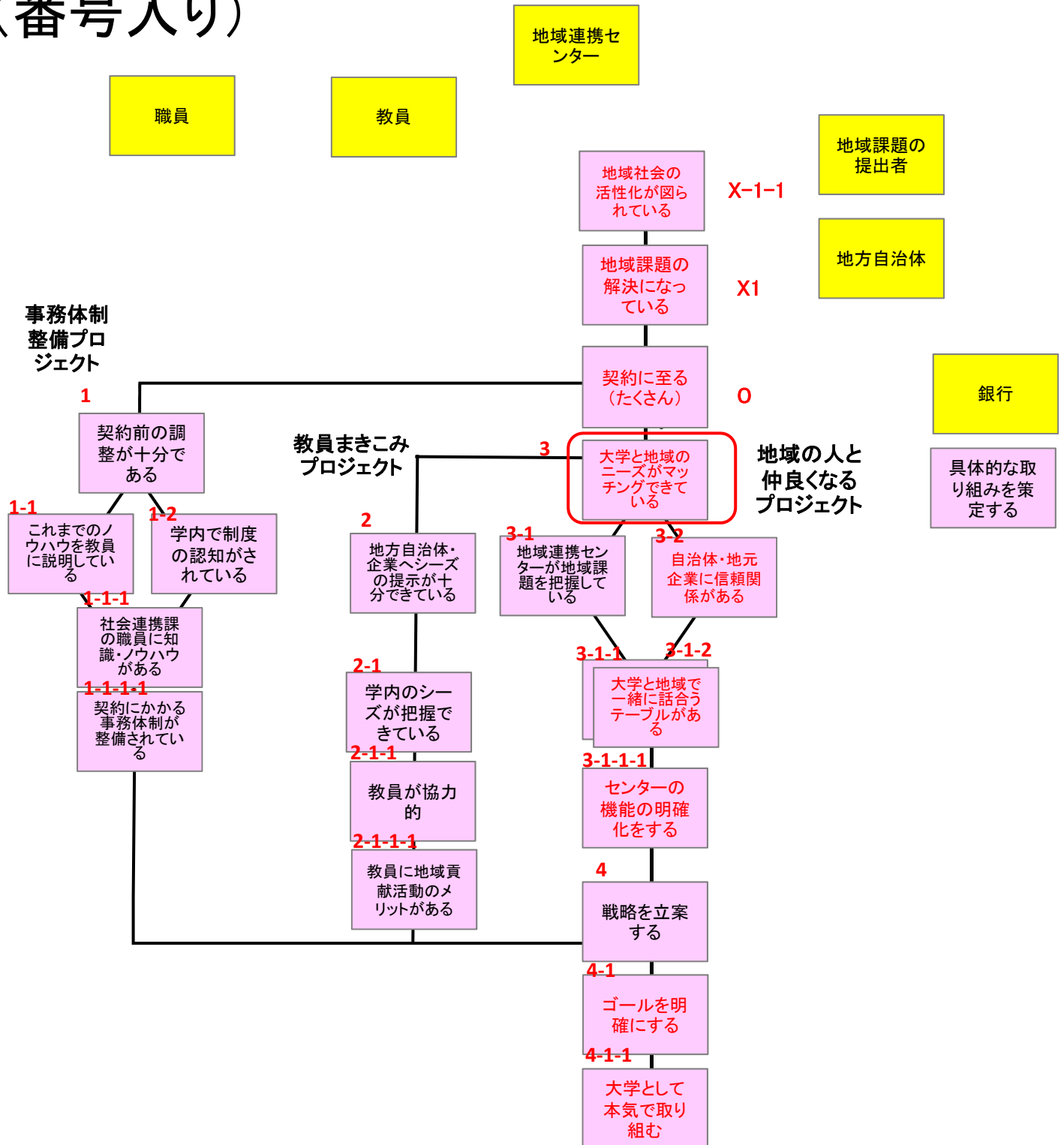
大学として本
気で事業を進
めようと思っ
ていない

ステップ2: 目的系図・ 実行プロジェクト選定



ステップ3: 目的系図 (番号入り)

4班



ステップ3 指標選定の作業結果(4班)

H28/1/28, 29 EAワークショップ
(独) 大学評価・学位授与機構

目的番号	目的	評価質問	指標	データ入手手段	資料の有無
	地域社会の活性化が図られている				
	地域課題の解決になっている				
0	契約に至る(たくさん)	契約に至りましたか	・契約件数 ・契約額 (相手先)		
1	契約前の調整が十分である	契約前の調整が十分であるか	・OP:苦情数? ・OC:満足度(アンケート)		
1-1	これまでのノウハウを教員に説明している	これまでのノウハウを教員に説明しているか	・説明会の回数 ・問い合わせの数		
1-2	学内で制度の認知がされている	学内で制度の認知がされているか	・説明会の回数 ・問い合わせの数 ・web研修のコンテンツ数、受講数		
1-1-1	社会連携課の職員に知識・ノウハウがある	社会連携課の職員に知識ノウハウがあるか	・研修会の出席 ・試験 ・資格取得数		
1-1-1-1	契約にかかる事務体制が整備されている	契約にかかる事務体制が整備されているか	・専門部署がある、専門の職員が居る、人数 etc	・アウトプット指標 ・アウトカム指標	
2	地方自治体・企業へシーズの提示が十分できている	地方自治体・企業へシーズの提示が十分できているか	q:何を以て十分とするか。 ・OP:シーズ集、web掲載数 ・OC:リアクション数	・自力解決可能指標 ・他力本願指標	
2-1	学内のシーズが把握できている	学内のシーズが把握できているか	q:何を以て十分とするか。 ・OP:シーズ集、web掲載数 ・OC:リアクション数		
2-1-1	教員が協力的	教員が協力的か	・各種プロジェクト等に参加している教員数 ・説明会等に来てくれる人 ・データ入力率(更新率)		
2-1-1-1	教員に地域貢献活動のメリットがある	教員に地域貢献活動のメリットがあるか	・評価指標に入っているか。 + (インセンティブ)		
3	大学と地域のニーズがマッチングできている	大学と地域のニーズがマッチングできているか	・連携事業数 ・授業科目数 ・学生の地域貢献活動数 ・ボランティア活動数 ・公開講座への教員の派遣数 ・マッチング率(上手くいった事業数、マッチングに至らなかった事業数、相談件数、ネタ数)		
3-1	地域連携センターで地域課題を把握している	地域連携センターで地域課題を把握しているか	q:何を以て把握したとするか。 ・相談件数 ・ミーティングの数(課題数)		
3-2	自治体・地元企業に信頼関係がある	自治体・地元企業に信頼関係があるか	・協定数(と内容) ・会議の出席率? ・人事交流数 ・(関連する)共催のイベント回数		
3-2-1	大学と地域で一緒に話合うテーブルがある	大学と地域で一緒に話合うテーブルがあるか	・会議開催回数 (種類、時間)		
3-1-1-1	センターの機能の明確化をする	センターの機能が明確か	・規則、学内で重複していないか		

目的番号	目的	評価質問	指標	データ入手手段	資料の有無
4	戦略を立案する	戦略を立案しているか	・ある、ない		
4-1	ゴールを明確にする	ゴールが明確になっているか	・誰が、いつまでに、何をするのか		
4-1-1	大学として本気で取り組む	大学として本気で取り組んでいるか	<ul style="list-style-type: none"> ・文科省と約束しているか ・概算要求 ・予算が切れた後のことを考えているか ・数値目標を中期目標・計画にどの程度掲載してるか 		